ZEPEAL

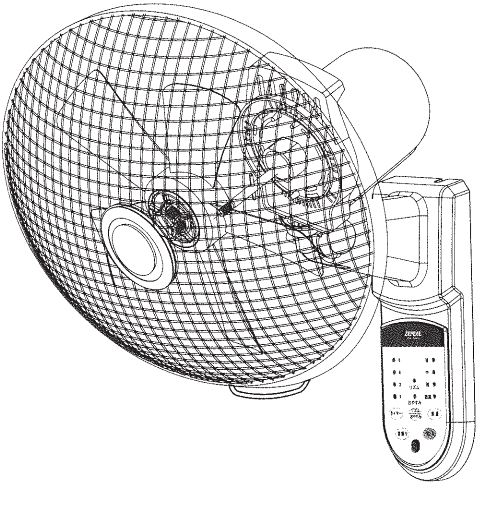
ゼピール　壁掛扇風機（羽根サイズ30cm）

DKF-A3413(BK)

[1.2.4.6時間切タイマー] [リモコン付]

取扱説明書（保証書付）

このたびは 壁掛扇風機をお買上げいただき、誠に有難う御座いました。
ご使用の前に、この取扱説明書（保証書付）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。
万一ご使用中に分からないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

もくじ

安全上のご注意…………………… 1~2
各部の名称と使いかた……………… 3
操作のしかた……………………… 3~4
組み立てかた……………………… 5~6
取付けかた…………………………… 7
リモコン……………………………… 8
お手入れと保管……………………… 9
前ガードのはずしかた……………… 9
長年ご使用の扇風機はよく点検を…… 10
アフターサービスについて…………… 10
仕様…………………………………… 10
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について… 11

●この扇風機は、一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

「安全上のご注意」

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警 告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近辺に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　　告

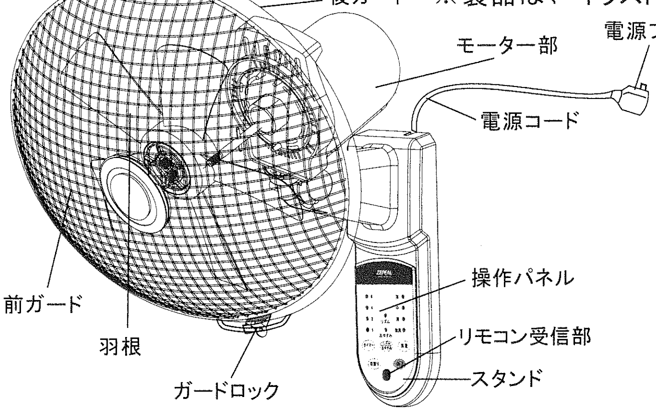
⊘	羽根・ガードをつけずにモーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。
⊘	水につけたり、水をかけたりしないで下さい。 ショート・感電の恐れがあります。
⊘	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
●	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。
⊘	包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する。 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因となります。
⊘	使用中（羽根の回転中）に、ガードを持って、上下、左右に風向きを変えない。 ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。

⚠注　意

	交流100V以外では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
	本製品は、一般家庭用です。次のような所では使わないで下さい。感電、火災、破損、故障の原因になります。 ●温室やビニールハウスなど湿度の高い所、雨や水しぶきがかかる所。 ●工場内などの油のつきやすい所。 ●有機溶剤を使用している所。 ●砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い所。 ●室外や40℃以上の高温になる所。 ●ガスレンジなど炎の近くや、引火性のガスのある所。
	髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれてけがをする恐れがあります。
	風を長時間からだにあてないでください。 健康を害することがあります。
	電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
	電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。電源コードを束ねてある結束バンドは必ずはずしてお使いください。
	ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。けがをする恐れがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。
	使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	本体に異常（大きな騒音や大きな振動など）が発生した場合は、ただちにご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
	電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

「各部の名称と使いかた」

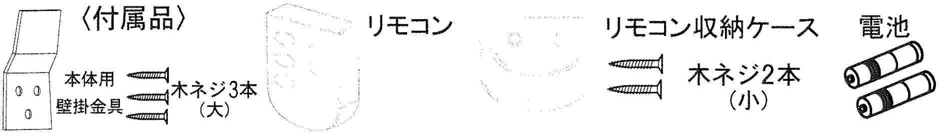
※製品は、イラストと少し違うことがあります。



風向きを変えるには

運転を停止して羽根が止まってから、スタンドを片手で押え、ガードを上下・左右に動かしてください。カチカチと音がでる範囲まで調節できます(手動時：左右約40度)。
※風向きは水平以上の設定はできません(下方向に 約35度)。

使用中(羽根の回転中)に、ガードを持って、上下、左右に風向きを変えない。ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。



●乾電池は工場出荷時に同梱していますので自己放電のため、寿命が1年以下の場合があります。

「操作のしかた」

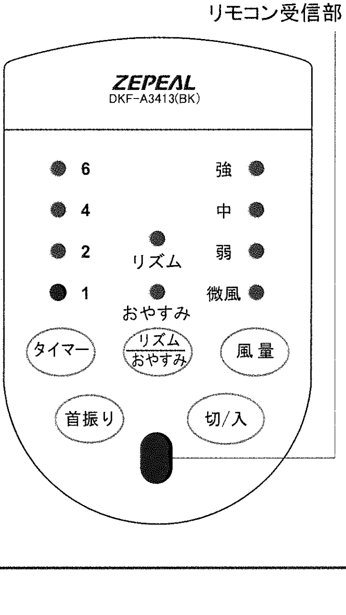
操作パネル

- 運転する時は、最初に「切/入」ボタンを押してください。他のボタンを押しても動作しません。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いた場合は、切の状態になりますので、初めから操作をやり直してください。
(運転開始直後の3秒間は、中で運転し、その後自動的に弱風に入ります。)
- 操作パネルの一部が暖かくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。

風量を調節するには

「風量」ボタンを押すと風量が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。

→微風→弱→中→強→(微風に戻る)



タイマーセットのしかた

「タイマー」ボタンを押すとタイマー時間が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。

→1時間 → 2時間 → 4時間 → 6時間 →
タイマーセット解除（連続運転）←

- 時間の経過とともに表示ランプが変わり、残りの時間を表示します。
- セット時間が終わりますと、表示ランプが消え自動的に運転が停止します。

「切/入」ボタン

「切/入」ボタンを押すと運転します。もう一度押すと停止します。

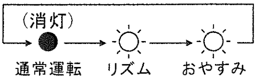
使用時以外は

●安全と節電のため電源プラグをコンセントから抜いてください。運転をしていなくとも、電源プラグを差込まれたままですと、わずかな電力（約1W）を消費します。

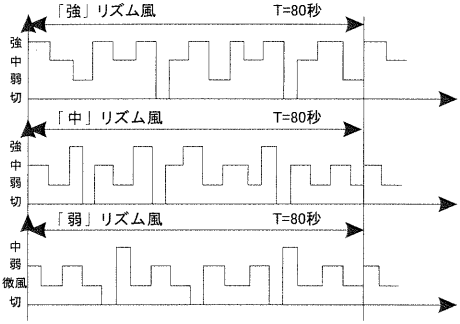
「リズム/おやすみ」ボタン

「リズム/おやすみ」ボタンを押すたびに
下記の図のように設定が切り替わります。

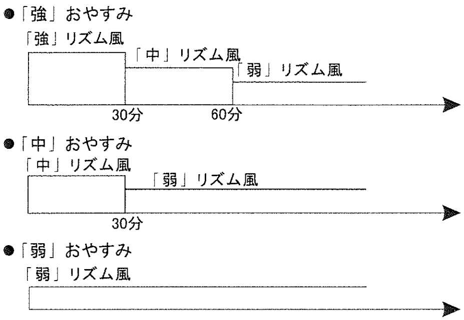
（「リズム/おやすみ」表示ランプ）



■「リズム」風量パターン



■「おやすみ」風量パターン



快眠を誘うように徐々にやさしい風量に変化します(弱リズム風の場合は、弱リズム風で運転を続けます。

「リズム」

●微風・弱・中・強の各風量設定ごとに、風量がリズミカルに切り替わります。（上左図参照）
※微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。
※運転時は、羽根が止まる場合があります。

「おやすみ」

●設定された風量から、30分ごとに自動的に風量を下げます。（上右図参照）
※微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。
※自動的に運転を停止する設定ではありません。切タイマー併用してのご使用をおすすめします。

快眠を誘うように徐々にやさしい風量に変化します
(弱リズム風の場合は、弱リズム風で運転を続けます)。

メモリー機能について

●運転停止後、「切/入」ボタンを押すと、停止する前の運転状態で運転します。
（おやすみ風量・タイマー時間はメモリーされません）
●電源プラグを抜くと、メモリーは解除されます。

「組み立てかた」

お　願　い

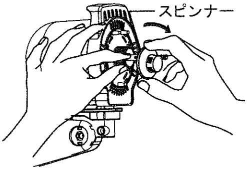
- 包装部品は扇風機を保管するとき、必要となりますので、捨てないでください。
- 羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- ガード止めナットとスピンナーはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締付けてください。
- 羽根をつけずにモーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。

1～5の順番で組み立ててください

⃠ モーター部は、ガード、羽根を取り付けない状態ではモーター重量バランスにより水平に近い高さとなります。本体にガード、羽根を取り付け、組み立てを完成させてから金具に取り付けてください。

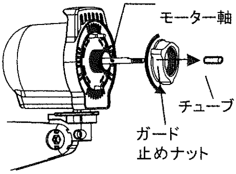
1.スピンナーをはずす

- 左手で回り止めピンを押さえて回らないようにして、右手でスピンナーを右（矢印の方向）へ回してはずして下さい。



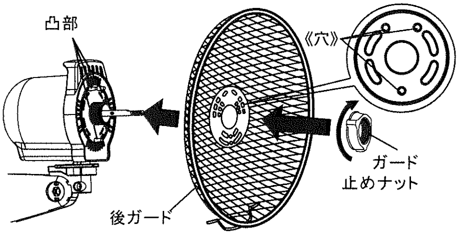
2.チューブ(黒色)をはずし、ガード止めナットをはずす

- 黒色のチューブ(モーター軸のさび防止用)をはずして(前方に引き抜いて)下さい。
- ガード止めナットを回してはずして下さい。
  ガード止めナット、スピンナー、チューブは保管の際本体に装着して下さい。



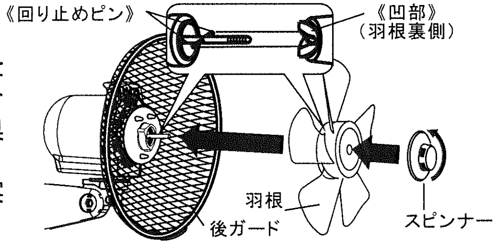
3.後ガードの取り付け

- 後ガードの穴をモーター部前面の凸部に差込み、「ガード止めナット」を右に回して、確実に締付けてください。

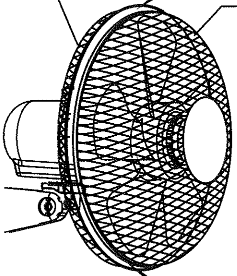


4.羽根の取り付け

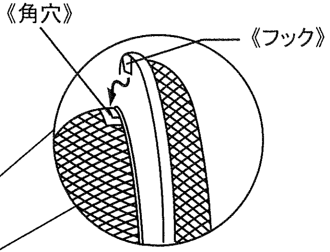
- モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏側の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差込み羽根を押さえながら、スピンナーを左へ回して、確実に締付けてください。



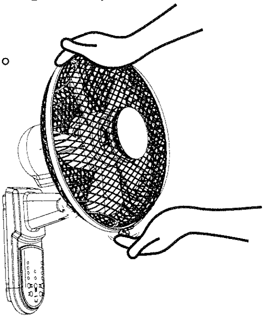
5.前ガードの取り付け



① 前ガードの《フック》を後ガードの《角穴》に合わせてはめ込みます。

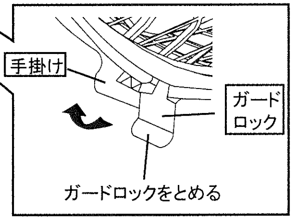


② 前ガードを後ガードにかぶせるように
上から順に前ガードを押さえながら、
前ガードの全周を
確実にはめ込んでください。

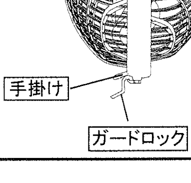


ご注意 この時、あまり力を入れすぎるとガードが変形するおそれがありますので、力を入れすぎないようにご注意下さい。

③ ガードロックを強く押し込んで固定します。



ガードロックが右図の
位置になるように
固定してください。
「パチン」と音がするまで
確実に強く押し込んでください。



「取付けかた」

取付け場所・取付け位置

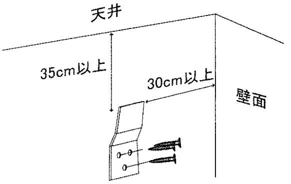
●取付け場所は、扇風機の重量に充分耐える場所(文夫で垂直な板壁または柱)を選んで取付けてください。
(注)落下防止のため壁面が10mm以下の木板あるいは軟弱な新建材の場合は、必ず裏面に柱あるいは桟(さん)のある丈夫なところに取付けてください。
●首振りさせたとき、ガードが天井や壁などに当たらないところを選んでください。
(注)壁掛け金具は天井から35cm以上、左右の壁から30cm以上離してください。
●本体が上向きで取付け面が垂直になるようにしっかりと取付けてください。
●木に取付ける場合は、付属の木ネジで取付けてください。
●コンクリート壁に取付ける場合は、コンクリートビスを購入のうえご使用ください。
●取付け場所によっては、モーター音と壁とが共鳴する場合があります。

お願い

●うすいベニヤ板、石膏ボード、しっくい壁、モルタル壁など強度のない壁には取付けないでください。
●横取付け、斜め取付け、逆取付けはおやめください。

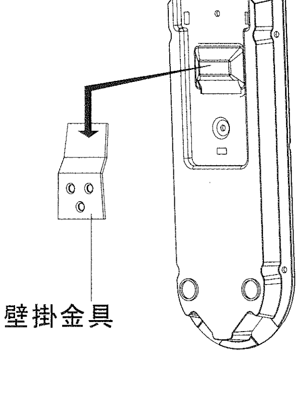
取付け

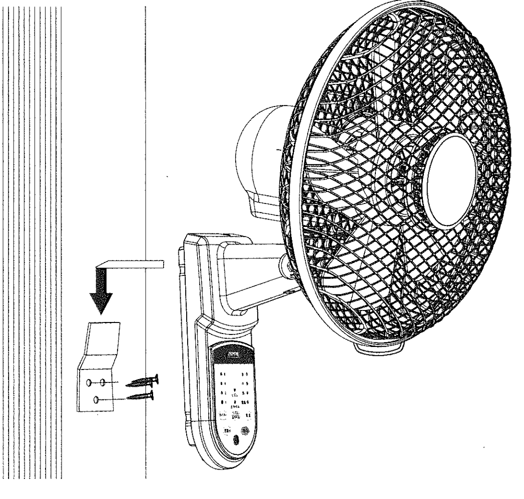
●壁掛け金具を木ネジ(3本)でしっかりと取付けます。
●本体の取付け方
本体裏面の壁掛け用穴に、本体用壁掛け金具のつめがはまるように壁面に沿って確実に止まるまで、引き下げて固定してください。



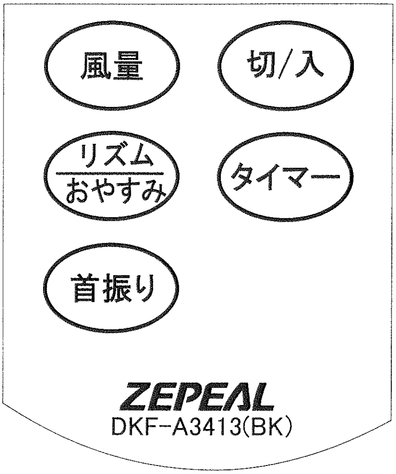
お願い

●木ネジは確実に締付けてください。





「リモコン」



1、操作のしかた

リモコンの送信部を本体の受信部に向けて、「切/入」ボタンをゆっくり押してください。

- ボタンの機能は本体側と同じです。
- リモコンの使用できる範囲は4mです。

お　願　い

- リモコンの送信部に傷を付けないでください。
- リモコンのボタンを2個同時に押さないでください。
- リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけたりしないでください。

※ 次のところではリモコンの操作ができないことがあります。

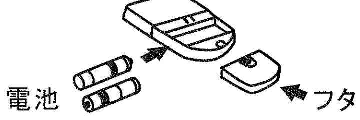
- 本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。
- インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ。
- 本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ。

2、電池の入れ替え（単4乾電池2本使用）

①リモコンの裏側の下部にあるフタを矢印の方向に引き出します。
②「＋・－」の表示に合わせて電池を入れ、本体に元通りフタを挿入します。

①

②



- 動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- 長時間使わない時は電池を取り出してください。（液もれによる故障を防ぎます）
- もし液もれが起こった場合は、液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。
- 「＋・－」を正しく入れてください。
- 電池は工場出荷時に同梱されていますので、寿命が1年以下の場合があります。

「お手入れと保管」

羽根・(前、後) ガードにほこりが多量に付着しますと異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。組立と逆の順序で分解し、清掃してください。

- 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取って下さい。

お　願　い

- お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。

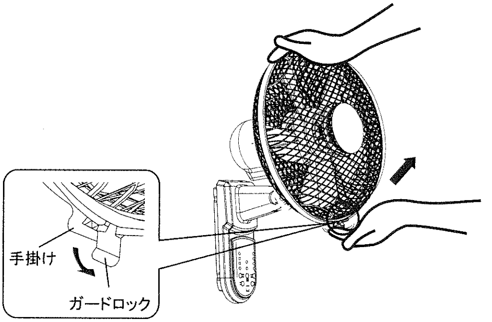
- 化学雑巾を使うときは、その注意書きに従ってください。
- 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- スプレーをかけないでください。〈掃除用、殺虫用、整髪用など〉破損・変質の原因となります。

〈保管〉

羽根を正面に向けて、組立と逆の順序で分解してください。(正面に向かない場合は無理にもどさず、首振りさせて正面に向けてください。)

- 〈お手入れ〉の方法に従って、お手入れしてください。
- モーター軸の汚れを取ってミシン油をうすく塗り、チューブをかぶせてください。(さびの防止)
- 包装ケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。

前ガードのはずしかた



必ず運転が停止した状態で作業を行ってください。

左図にようにガードロックをはずし、前ガードを上から押さえ、手掛けを手前に強く引きます。

(お願い)
前ガード、ガードロックは、運転中にはずれないように固定しております。はずす時に少しかたく感じますがそのまま強く手前に引いてください。

⚠ 警　告

	羽根・ガードをつけずに、モーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。
	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

★こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても回転がおそかったり不規則。
- モーター部が異常に熱い。
- 異常な音がする。
- コゲくさいにおいがする。

★異常があれば

ご使用中止！！
すぐに電源プラグを抜いて事故防止、モーターの焼損防止のために必ず販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

① この製品は保証書がついております。お買い上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。

② 保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理を承ります。その他詳細は保証書をご覧ください。

③ 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。

④ 扇風機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後８年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

⑤ アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または当社修理理サービスセンターにお問い合わせください。

仕様

電圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風速 (m／min)	風量 (m^3／min)	質量 (kg)
100	50	42	180	40	約2.5
	60	47	185	42	

上記のデーターは強風時点の数値です。
※商品の仕様は、品質向上、製品改良のため、予告なく変更することがあります。

風量	電気料金の概算目安:(首振り動作時)(1時間あたり:当社調べ)
微風	約 0.5 円
弱風	約 0.7 円
中風	約 0.9 円
強風	約 1.0 円

※ 電気料金の概算目安です
電気料金は目安単価(1時間あたり22円:1kWh=1000Wh)で計算
電力会社およびご家庭の電力使用量、ご契約内容、室温、器具の使用条件により金額は異なります。

電気料金の概算金額算出例。「弱風」時の電気代。
「弱風」の平均消費電力は約30W（当社調べ）
1時間あたりの電気料金の目安価格を22円として計算。
(30W÷1000W)×22円≒0.7円（小数点第二位四捨五入）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体に西暦４桁で表示してあります)

※【設計上の標準使用期間】 6年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件　日本工業規格 (JIS C9921-1)及び
(社) 日本電機工業会自主基準HD-116-3による

環境条件	電圧	単相交流100V
	周波数	50Hz及び60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置 (製品の取扱説明書による)
負荷条件		定格負荷(風速) (製品の取扱説明書による)
想定時間等	1日あたりの使用時間	8 (h/日)
	1日使用回数	5 (回/日)
	1年間の使用日数	110 (日/年)
	スイッチ操作回数	550 (回/年)
	首振運転の割合	100 (%)

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

ZEPEAL

株式会社 電響社

本社：〒556－0006 大阪市浪速区日本橋東2丁目1番3号

コールセンター	TEL:0120-070-440	［受付時間］	9:00～12:00(土曜、日曜、祝日を除く)
	FAX:06-6644-4433		13:00～17:00(土曜、日曜、祝日を除く)
修理サービスセンター	TEL:075-681-2430	［受付時間］	9:00～17:00(土曜、日曜、祝日を除く)
	FAX:075-681-0886		